

一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。21名の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

自由民主党

高橋 卓誠 議員

問 私道整備や私道共同排水設備の老朽化等地域課題の現状を把握し解決に取り組むべき。

答 市内の連携を図りながら地域の要望をしつかり聞き、丁寧な制度説明に努めたい。

○G7終了後の本市経済政策

○ふるさと納税返礼の在り方

○外国人観光客誘致の諸施策

○台南市をはじめとする台湾との交流強化

佐々木 心 議員

問 八木山動物公園の整備計画と飲食施設不足解消のための移動販売車導入について伺う。

答 「(仮称)ふれあい動物園」等の新たな魅力づくりを進めている。移動販売車は来園者の多い時期への対応として今後検討していきたい。

○支え合い活動推進費助成金事業の周知と要件緩和

○図書館に読書通帳の導入を

問 年収400万円のひとり親世帯の保育料が同年収の共働き世帯より多いのは不合理であり、是正すべき。

答 幼児教育の段階的無償化を国に要望していきたい。

○主権者教育の政治的中立性

○テロ防止対策と大規模災害対応のための緊急事態条項

○G7の総括とシティブロモーション用英文併記資料の作成

菅原 正和 議員

問 地域保健福祉計画に関し、地域の共助を支える担い

手育成の取り組みを行うべき。

答 地域の方が活動しやすい環境づくりや担い手育成支援の充実を図っていく。

○新たな「WE SCHOOLS」の今後の取り組み

○18歳選挙権実施に伴う主権者教育や選挙啓発等の取り組み

○シティブロモーション戦略

問 小中一貫教育とチーム学校についての認識と今後の方向性を伺う。

答 小中一貫教育は中一ギャップなどに対応する有効な手法であり、チーム学校は専門職の力で学校の総合力を高めるものと認識している。首長と教育委員会の意見交換の場である総合教育会議で議論を深めていきたい。

やしろ 美香 議員

問 自身の健康状態を把握し人生設計を考えるため若年世代の「節目検診」を導入すべき。

答 市民健康意識調査結果等の検証も必要であり、今後の検討課題としたい。

○ストレスのない妊娠出産・子育ての環境づくり

○バス路線・地下鉄沿線のフリーWi-Fi整備

○科学館を活用した防災教育

問 急速に進展する道路施設の老朽化に早急な対応を。

答 事故防止やコスト削減、予算の平準化を図る必要がある。今後とも保全に尽力する。

○馬越石トンネルや鹿落坂橋の安全性向上策を早急に

○公園愛護協会の報償金

○水道施設の老朽化対策

○ガス事業のエネルギー競争激化への対応と民営化の見直し

佐藤 正昭 議員

問 集団移転跡地活用では、市は、民間の考え方、ス

リードおよび感性の吸収を。

答 行政の固定観念を乗り越え、事業の実現に取り組む。

○荒川、羽生両五輪メダリスト記念碑の早期設置を

○市民や企業の力を活かし、スケートリンク整備の決断を

○市立学校運動会での国旗掲揚に臨む姿勢の改善と準備体操

○行政と市議会の役割と責務

○市内の上司・部下の意思疎通

○市民サービス向上のため市役所職員の始業時間統一を

○集中豪雨・ゲリラ豪雨から市民を守る取り組みの強化

○児童生徒の教育環境の充実と学校支援地域本部の制度拡大に向けた体制づくり

○本市経済振興に向け市長は

○市民生活・地域経済に軸足を

市民フォーラム仙台

平井 みどり 議員

問 音楽ホール建設事業化の検討に際し市の構想を伺う。

答 楽都の取り組みを発展させ、人を引き付ける魅力ある施設となるべきと考える。

問 文化芸術振興の理念を示すため条例が必要だが伺う。

答 「仙台市における芸術文化振興のための指針」の理念を基に、今後さまざまな事業に取り組みたい。

岡本 あき子 議員

問 ドローン操縦・ロボット技術など近未来技術の人材育成を仙台の売りに。

答 高等教育機関のネットワークを生かし、優位な人材育成を図っていきたい。

○危険ブロック塀の早期除去を

○近未来技術実証実験場整備を

○保育士の確保には処遇改善を

○子ども医療費助成は18歳まで対象拡大を

佐藤 わか子 議員

問 他の政令市でも導入が進む少人数学級の早期実現を

答 教員増員など多額の財政負担もあり慎重な検討が必要。

○倒壊の恐れのある空き家は勧告・命令を出し早期改善を

○校長任命の在り方を見直しを

○市債残高縮減の取り組み強化

○錦ヶ丘地区の民間バス会社の敬老乗車証利用の早期実現を

○「赤ちゃんダイヤル」の設置

公明 党

佐藤 幸雄 議員

問 八乙女駅周辺への交番設置の要望があるが、県警から同駅を中心としたエリアの市有地の提供依頼があった場合、協力するか伺う。

答 交番設置にはさまざまな課題があるが、県警、関係部局と協議し可能な範囲で必要な対応をしていきたい。

○自転車の安全な利用への取り組み

鈴木 広康 議員

問 昨年9月の関東・東北豪雨を踏まえて仙台市水防計画・地域防災計画の修正をどのように行ったか伺う。

答 国や県などと協議し、避難情報発令の基準や大雨時の避難所開設の在り方などについて計画の見直しを行った。

○熱中症対策で学校に冷水器を

○空家等対策計画の策定予定

○ドクターヘリ運航について

嶋中 貴志 議員

問 「杜の都防災力向上マシオン認定制度」の改正後の結果について伺う。

答 新規認定が増加し、新制度が誘因となったと考える。

○愛子観光バスへの敬老乗車証導入を

○公立夜間中学校設置の検討

○クラウドファンディング事業

○仙台国際ハーフマラソン大会への30kmコースの新設を

日本共産党

署の設置と全庁的な取り組みを。

答 実態調査の結果を踏まえ、全庁連携し、今後の施策や推進体制の在り方を検討する。

○給付型奨学金制度の創設を

○就学援助認定基準の引き上げ

○SSWを計画的に増員すべき

○保健師の採用枠の拡大を

○子ども食堂等への公的支援を

嵯峨 サダ子 議員

問 復興公営住宅を除く市営住宅は、この10年間で701戸減った。今年3月の定期募集の倍率は最高66・5倍だ。戸数が絶対的に不足している市営住宅を新規に建設すべき。

答 「市営住宅の整備及び管理の基本方針」により今後10年間の市営住宅の管理戸数は現状維持を基本としており、新規の建設は考えていない。

社 民 党

ひぐち のりこ 議員

問 将来にわたって、魅力があり、ワクワクする都市となるよう積極的な文化施策を。

答 市民とともに文化の活力あふれるまちづくりを進める。

○災害時の自治体への権限移譲

○熊本地震への本市独自支援

○仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム

○男女共同参画せんだいプラン2016等の着実な推進を

相沢 和紀 議員

問 防災意識の高揚等に有効な「みんなで備えるMY発電補助金」の予算増額を含め、積極的な取り組みを求める。

答 当年度予算の全額執行に努め、今後の展開につなげたい。

○集団移転跡地の活用提案

○消費税率引き上げ再延期による市財政への影響と対応策

○下水管への誤接続の改善を図り、集中豪雨への対策を

失われる事例があった。母子健康手帳の電子化の実施に向けた検討を行うべき。

答 電子式の母子健康手帳は、紙媒体の母子健康手帳を補完する有力なツールと考えている。他都市の取り組みを参考に、効果的な子育て支援の手法を研究していきたい。

輝く 仙台

柳橋 邦彦 議員

問 本市は、災害時においても行政機能を維持し、市民の生命と財産を守り切れるか

答 震災後、国は被災地の切なる要望や提案を尊重したか

○東北の数ある奇祭を巡る旅を提案し、東北6県の交流と連携を推進せよ

○音楽ホールの整備に当たっては、人脈の構築が重要であり、誤らずに進めよ

伊藤 ゆうた 議員

問 東日本大震災では母子健康手帳を紛失し受診記録が

平成28年第3回定例会は、9月7日(水)開会の予定です。

会派別議案賛否一覧表

議案 []内は議案番号	会 派 名 ()内は所属議員数							採 決 結 果
	自由民主党	市民フォーラム仙台	公明党仙台市議団	日本共産党仙台市議団	社民党仙台市議団	民進党	輝く仙台	
補正予算案 一般会計(第1号)[96]	○	○	○	×	○	○	可決	
条例改正案 市税条例[97]、子育てふれあいプラザ条例[98]、消防団員等公務災害補償条例[100]、市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び市長の選挙における選挙運動用ピラの作成の公営に関する条例[102]	○	○	○	○	○	○	可決	
地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例[99]	△	○	○	×	○	○	可決	
学校給食センター条例[101]	○	○	○	×	○	○	可決	
その他議案 工事委託契約の締結に関する件[103]、財産の取得に関する件[104]、財産の処分に関する件[105]、市道路線の認定に関する件[106]	○	○	○	○	○	○	可決	
資産等公開審査会の委員の委嘱に関する件[107]	○	○	○	○	○	○	同意	

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 △：議案の採決の際に一部議員退席